

編集

三好市役所総務部秘書人事課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

☎0883-72-7646

koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

<http://www.city-miyoshi.jp/>



QRコードからアクセス

□ 編集後記

三野体育館で行われたゴルゴ松本さんの命の授業。漢字に込められた一つ一つのメッセージを笑いを交えながら熱弁され、それぞれの漢字の成り立ちに本当にはっと気づかされました。漢字を深くひもとくと先人の素晴らしさや日本語の奥深さを実感することができます。12月12日には、今年の漢字が清水寺で発表されます。「言葉が人間を成長させる」そんな講師の言葉を胸に、今年一年を振り返りながら、自分自身に当てはまる一文字を探してみようかと思います(近)

毎年、年明けに開催される「あわこい」のプログラムが出揃いました。ああ、もうそんな時期か〜と年末を感じながら制作していました。巻頭で、プログラムの一部をご紹介します。地元で長く住んでいても地域の体験プログラムに参加したことがない方もたくさんいるのではないのでしょうか。参加者の皆さんが楽しめるよう工夫をこらしたプログラムが並んでいますので、年明けの予定と相談しながら、ぜひ参加計画を立ててみてください。「あわこい」で、これまで気付かなかつたに阿波の新たな魅力を発見できるかもしれません(肴)

三好市探訪



煙草の祖 筑後坊像

— 三好市山城町大野 —

山城町大野には、山城谷村煙草耕作組合が施主となり、1952(昭和27)年3月29日に建立された煙草栽培の祖「筑後坊」の石像が胸に葉煙草を抱えて建っています。

1612(慶長17)年、山城町大野に諸国を行脚していた修験者がこの地を訪れ、たばこの種子を村人に分け与え、栽培を伝授したとの逸話が残されています。村人からは「大坊主」と親しまれていたこの修験者は、出身が筑後であったために、「筑後坊」とも呼ばれました。以来、三好市の山間部において栽培が広がり、地域の主要な産業として発展していきました。

「筑後坊」が伝えたたばこは、この地域で盛んに作られていた「阿波葉」という銘葉のルーツと考えられています。2012(平成24)年10月14日、阿波葉伝来400年記念行事として、大野大寺観音堂において記念式典が開催され、たばこ踊りも披露されました。たばこ産業で栄えた当時のにぎわいを今に伝える石像として親しまれています。